

子ども学科専任教員プロフィール(2018年度)

安藤正樹	【専門分野】 体育学、舞踊学 【研究テーマ】 幼児の体育及び舞踊に関する研究 【担当科目】 保育内容指導法健康、児童文化、子どもの身体表現、体育、保育実習Ⅰ・Ⅱ他 【プロフィール】 鳥取県出身。宮城教育大学小学校教員養成課程(保健体育ピーク)卒業。1981～1993年の13年間仙台市立小学校(立町小・東仙台小・中野栄小)勤務。幼稚園～高等学校の一種免許状取得。1994年から尚絅保育科に勤務。認定こども園みどりの森・やかまし村(2017年度開園)理事長、全日本独楽回しの会会長、仙台・子ども未来フォーラム(こどものまち)実行委員長、仙台ひと・まち交流財団理事、NPO法人みやぎ・せんだい子どもの丘副理事長、民俗舞踊研究会「雅座」大番頭、学生サークル「民俗舞踊クラブもくもく」顧問・指導者、独楽、お手玉等の伝承遊びや、国内外の民俗舞踊(盆踊り・フォークダンス)等を研究・実践中。 【メッセージ】 子どもたちは、「遊び」を通して様々なことを学び、成長します。乳幼児から学童まで、様々な年齢に合った運動や遊びを把握し提供できる、言わば子どもたちの「ガキ大将的存在」であってほしいと思います。たくさん遊びを覚え工夫して、良き保育者・教育者になってください。
金井徹	【専門分野】 教育行政学・教育制度論・教育史 【研究テーマ】 戦後日本の教育政策とその思想 【担当科目】 教育原理、教育制度、教育職概論、教育課程総論、他 【プロフィール】 長野県出身。東北大学教育学部卒業。東北大学教育学研究科博士課程前期修了。東北大学教育学研究科博士課程後期在学中の2008年4月より修紅短期大学幼児教育学科に勤務。2014年4月より尚絅学院大学に赴任し現在に至る。その他、東北大学全学教育科目「教育原理」非常勤講師(2014年4月～)、東北教育学会研究紀要編集委員会編集幹事(2013年4月～)など。 【メッセージ】 思想史に注目して、日本の教育のあり方を考えています。「子どもとは何か」を問うことは、翻って「大人とは何か」という問いを自分自身につきつけられるものと思います。大学生活全体を通して、子どもたちと関わり、そして様々な大人と関わる中で、こうした根源的な問いを深めていって欲しいと思います。私自身も、みなさんと共に考えていきたいと思っています。
小松秀茂	【専門分野】 教育心理学、障害児心理学 【研究テーマ】 障害児における視覚系の活動の発達とその障害 【担当科目】 教育心理学、子どもの発達と障害、児童心理学、障害児保育の理論と実践、他 【プロフィール】 1950年宮城県生まれ。東北大学大学院教育学研究科博士課程後期単位取得退学の後、いわき短期大学、東北芸術工科大学、尚絅学院大学短期大学部保育科での勤務を経て、2010年4月より2015年3月まで尚絅学院大学総合人間科学部子ども学科教授(学科長)。 【メッセージ】 子ども一人ひとりの目線に立つことができて、子ども同士が豊かに育ち合えるように支援できる。子ども学科は、そのような人材の育成を目指します。一緒に学び合いましょう。

佐藤 淳一	【専門分野】 声楽(宗教音楽・オペラ) 【研究テーマ】 バッハを中心とした声楽曲の演奏 【担当科目】 音楽Ⅰ、音楽Ⅲ、子どもの音楽表現、インターンシップ、音楽と表現 【プロフィール】 福島県会津若松市出身。東京藝術大学声楽科卒業。同大学院音楽研究科独唱専攻修了。1985年より尚絅女学院短期大学保育科に勤務。2007年4月より尚絅学院大学表現文化学科に所属。2015年4月より子ども学科所属。1990～91年ミュンヘンに留学しアダルベルト・クラウス氏の下で宗教音楽を中心に研鑽を積む。帰国後は仙台宗教音楽研究会代表として、また仙台オペラ協会の演奏部会員代表ならびに芸術監督として活動している。2013年11月には日本シリーズ第7戦楽天×巨人の試合開始前の国歌斉唱を担当した。 【メッセージ】 研究室も音楽棟に引っ越ししました。学内でたくさんの歌声や楽器を奏でる音が聞こえるようにしていきたいと願っています。
杉山 弘子	【専門分野】 発達心理学 【研究テーマ】 乳幼児期の仲間関係の発達と保育 【担当科目】 発達心理学、乳幼児心理学、障害児保育の理論と実践、他 【プロフィール】 山形県出身。東北大学文学部卒業。東北大学大学院教育学研究科博士課程後期満期退学。尚絅女学院短期大学(2003年4月より尚絅学院大学女子短期大学部)の教員を経て、2010年4月より現職。 【メッセージ】 子どもとともにいることの楽しさを共感し合えるような学びを大切にしていきたいと思います。
相馬 亮	【専門分野】 幼児造形教育、図画工作科教育、鉛筆による絵画制作 【研究テーマ】 子どもの空間認識力、子どもの描画活動 【担当科目】 図画工作、保育内容指導法表現Ⅰ(造形)、子どもの造形表現他 【プロフィール】 福島県出身。福島大学教育学部卒業、福島大学大学院教育学研究科修了(教育学)。福島市の私立小学校で図画工作専科を7年、中学・高等学校で美術科教諭を7年勤務。その間も、近畿大学豊岡短期大学通信教育部、桜の聖母短期大学生活科学科非常勤講師として勤務。美育文化協会「東北幼年美術の会」委員。教育活動以外にも、福島、東京を拠点に制作活動に取り組み、現在はモダンアート協会会員、日本美術家連盟会員。2014年より本学に赴任。 【メッセージ】 図画工作や美術は、“情操教育”と言われています。つまり、“心”を育てる教科です。では、なぜそう言われるのか。子どもたちにとって、絵を描いたり、ものを作ったりする行為にはどのような意味や価値があるのか。教育の本質を、みなさんと共に4年間の大学生活の中で考えていきたいと思っています。

田中和夫	【専門分野】 中国古典文学(漢文学) 【研究テーマ】 中国古代の詩集『詩経』、その解釈学的研究 【担当科目】 漢文学概論・漢文学Ⅰ(文学) 【プロフィール】 福島県出身。早稲田大学文学部中国文学専修卒。早稲田大学大学院に進学。博士課程単位取得修了。宮城学院女子大学に赴任。講師・助教授・教授。中国文学・中国語等担当。この間北京第一外語学院において一年間海外研修(訪問学者)。東北大学・宮城教育大学・福島大学・東北学院大学等において非常勤講師として中国文学・中国語等の科目担当。中国詩経学会名誉会員、日本詩経学会理事。第一回中国詩経学会二等奨受賞。 【メッセージ】 漢文というと、取り付きにくいところがあるかと思いますが、一定の準備をして取り組むと、面白くなってくるはずです。
田村嘉勝	【専門分野】 国語科教育学・日本近現代文学 【研究テーマ】 国語科教育学(学習課題論、臨床国語科教育)・日本近現代文学(川端康成・井上靖・あまんきみこ研究、文学作品の読み方研究) 【担当科目】 児童文学論、国語科教育法、国語、国文学概論、教育実習指導Ⅱ、教職実践演習、他 【プロフィール】 宮城県出身。福島大学教育学部卒業後、横須賀市内の公立の小学校・中学校・高校教諭として勤務。二松学舎大学大学院文学研究科前期博士課程修了、同大学院後期博士課程単位取得満期退学。奥羽大学文学部日本語日本文学科教授、非常勤講師で福島大学人間発達文化学類・鶴見大学文学部・東北学院大学・石巻専修大学・二松学舎大学大学院文学研究科に。2010年4月より尚絅学院大学子ども学科教授。 【メッセージ】 国語科は他教科の基本となる科目です。小学校・中学校教師になって、子どもたちが教科としての国語を大好きになるにはどうすればいいか、みんなで考えましょう。実際の授業を想定し、教科書教材をみんなで納得するまで議論してみたいですね。
土田定克	【専門分野】 音楽(ピアノ) 【研究テーマ】 子どもの情操を育む音楽のあり方 【担当科目】 音楽Ⅰ、ピアノ伴奏法、音楽Ⅲ、子どもの情操と音楽 【プロフィール】 東京都出身。桐朋女子高等学校音楽科(共学)卒業。ロシア国立モスクワ音楽院卒業。同大学院修了。2002年第3回ラフマニノフ国際ピアノコンクールにて第1位受賞。国内外でソロピアニストとして演奏活動。ロシア・ペルミ市長より功労感謝状授与。現在、尚絅学院大学子ども学科准教授。宮城学院女子大学音楽科非常勤講師。東方キリスト教学会会員 【メッセージ】 子どもの成長には、心身共に健康的な「食事」が欠かせません。特に視聴覚を通した「食事」である「色」や「音」の波長が幼児の心に及ぼす影響を我々は熟知しなければなりません。授業を通して自分自身の美的感覚や審美眼を養いながら、幼児教育者として求められる直観や判断力を身に付けてほしいと考えています。

天間環	【専門分野】 教育学 【研究テーマ】 児童・生徒理解と人間形成作用について 【担当科目】 生徒・進路指導論、特別活動、他 【プロフィール】 青森県出身。法政大学を卒業後、埼玉県公立小学校教員として勤務。約10年間、子どもたちと遊びやスポーツに明け暮れる。その後、研究のため現職教員として上越教育大学大学院修士課程に派遣される。修士課程修了後、教育現場に復帰。教諭・教頭・校長・指導主事・教育相談センター所長として勤務。2010年4月より尚絅学院大学子ども学科教授。 【メッセージ】 小学生の子どもたちを見ていると実に楽しい。幼児期のあどけなさから抜けきれない低学年児童。何にでも興味を示し、食べきれないほどの道草をお腹いっぱい食べ、なかなか家にたどり着くことができない中学年児童。思春期に入り、心が振り子のように大きく揺れ動き、なかなか自分の感情を抑えきれない高学年児童。このような子どもたちに、寄り添うことができる教師とは、どういう教師か。ともに考えていきたいと思います。
兎澤聖	【専門分野】 社会福祉・児童家庭福祉、特に困難を抱えた子どもと家庭への援助である社会的養護分野 【研究テーマ】 社会的養護の理念や制度、支援論、職員の専門性と育成について 【担当科目】 社会的養護、児童家庭福祉、社会福祉、相談援助、保育相談支援、他 【プロフィール】 岩手県出身。岩手県立大学社会福祉学部福祉臨床学科卒業、同大学院社会福祉学研究科修士課程修了。東京都内の児童養護施設で児童指導員、主任、ファミリーソーシャルワーカーとして勤務。法政大学大学院人間社会研究科博士課程単位取得満期退学。2012年4月より横浜保育福祉専門学校、2015年4月より東京純心大学こども文化学科で勤務。2015年9月から2016年3月まで和泉短期大学非常勤講師。2018年4月より尚絅学院大学子ども学科専任教員。 【メッセージ】 大学時代の様々な学びや経験が皆さんを大きく成長させ、その後の人生を豊かなものにしてくれます。興味・関心のあることだけでなく時には難しい課題にもチャレンジしながら、一日一日を大切に積み重ねていかれることを期待しております。
東義也	【専門分野】 保育学 【研究テーマ】 子どもの遊びと保育、キリスト教保育の理論と実践 【主な担当科目】 保育原理、幼児教育論、キリスト教と保育、尚絅学、他 【プロフィール】 熊本県出身。明治学院大学社会学部社会福祉学科を卒業後、養護施設（現在は児童養護施設）に児童指導員として勤務。玉川大学文学部教育学科（通信教育）で幼稚園教諭免許状取得後、私立幼稚園に勤務。その後、静岡大学大学院で修士課程修了。再び幼稚園教諭、保育園園長として勤務。尚絅女学院短期大学（現在の尚絅学院大学）に採用されて以来今日に至る。 【メッセージ】 いっしょに楽しく勉強・学問しましょう。絵本を読んだり、おもちゃを作ったり、外で遊んだり、いっしょに歌ったりしたいと思います。これらは子どもが大好きなことですので、子どもの気持ちを理解するためにも、こういうことを一生懸命やりたいのです。

前田有秀	【専門分野】 福祉心理学、保育学 【研究テーマ】 保育実習に関する研究、乳幼児期の保育に関する研究 【担当科目】 保育内容指導法人間関係、保育内容総合演習、家庭支援論、保育実習指導Ⅰ・Ⅱ、他 【プロフィール】 青森県出身。東北福祉大学にて保母(保父)資格取得後、仙台市内の認可保育園に法人初の男性保育士として採用される。1歳児から5歳児までのクラス担任、全クラス対象のフリー保育士、さまざまな障がいを抱える子どもの保育や保護者支援、主に幼児組の現場主任などを経験し、19年間保育現場で勤務する。2011年4月より東北福祉大学通信制大学院にて福祉心理学を専攻し『保育専攻生における保育実習の効果』についての研究をする。2013年3月に修士号を取得し、2014年4月より尚絅学院大学子ども学科専任教員として採用され、今日に至る。 【メッセージ】 長年、保育士としてたくさんの子どもたちの成長を支え、見守ってきました。子どもが健やかに育つためには、子育てに関する専門知識と温かい心をもった保育者の存在が必要です。そのためには、「子どもってすごいな」「子どもってかわいいな」と心の底から感じるのだと私は思います。保育現場での経験を活かした授業や保育実習指導を心がけていますので、一緒に楽しく学びましょう。
峰友紗	【専門分野】 母子保健、公衆衛生 【研究テーマ】 地域における母子保健活動、子どもの育ちに関する疫学研究 【担当科目】 子どもの保健Ⅰ、子どもの保健Ⅱ、子どもの保健Ⅲ、母子保健、他 【プロフィール】 神奈川県出身。東京慈恵会医科大学医学部看護学科にて看護師・保健師資格取得後、東京都大田区にて9年間自治体保健師として勤務。母子保健業務を中心に、精神保健活動、感染症対策等に携わる。法政大学大学院社会科学部研究科修士課程(政策科学修士)、国立保健医療科学院専門課程を修了(Master of Public Health)後、公衆衛生看護教育に携わる。その後、東邦大学大学院医学研究科博士課程にて博士(医学)を取得。2018年4月より尚絅学院大学に着任。 【メッセージ】 胎児期を含む幼少期の健康が、大人の健康に大きく影響することが明らかにされつつあります。子どもの健やかな育ちを守るために何ができるか、さまざまな視点から、子どもの専門家を目指す皆さんと一緒に考えていきたいと思っています。
安田勉	【専門分野】 児童臨床心理学 【研究テーマ】 子どもや家族への心理的支援、子どもが安心できる環境の形成 【担当科目】 社会的養護内容、教育相談、子ども学演習、他(大学院心理学専攻臨床心理学コースの講義も担) 【プロフィール】 福島県出身、東北大学大学院教育学研究科教育心理学専攻修士課程修了。情緒障害児短期治療施設にセラピストとして勤務した後、大学での教育・研究活動と共に児童養護施設や児童相談所などで子どもや家族への相談活動に携わる。また福祉専門職や看護専門職など対人援助専門職への面接技術やメンタルヘルスに関する研修にも取り組んでいる。臨床心理士 【メッセージ】 子どもや家族、また生活する社会環境などについていろいろ学び・考え合えることを期待します。

山崎裕	【専門分野】 生物学 【研究テーマ】 子どもの自然体験と生命観・自然観、顕微画像と生物教材 【担当科目】 子どもの自然環境教育、保育内容指導法・環境、理科教育法、理科、教職実践演習、他 【プロフィール】 青森県出身。山形大学理学部生物学科(理学修士)、東北大学大学院農学研究科(博士)修了。植物生理形態学、遺伝学史、博物館学、自然教育などを研究。高等学校・看護学校非常勤講師、山形大学附属博物館学芸担当職員、斎藤報恩会自然史博物館学芸員、理化学研究所研究員、日本メンデル協会評議員、東北芸術工科大学・東北文教大学・石巻専修大学・青森明の星短期大学・山形大学などの非常勤教員を経験。2010年より尚絅学院教壇に立つ。名取市自然と地域ふれあい活動推進委員会委員、国立青少年教育機構「国立花山青少年自然の家」講師などを経験。 【メッセージ】 豊かな天然の東北に育ちながら、子どもたちの自然体験が希薄なってきています。課外の自由遊びで直に触る生命や自然現象の重要性を、学生・皆さんの力を借りつつ見直したいと思っています。
-----	---